

# SHS INTERNATIONAL LETTER MAY

読者の皆さん、こんにちは！新年度がはじまり約1か月が経ちました。少しずつ新しい生活に慣れてくる頃かと思います。これから高校では定期考査が実施されます。全力で勉強に取り組み、良いスタートを切ってください。さて、今月号では先日行われた国際コース説明会の様子と、長期留学体験記をご紹介します！

## ☆4月20日 国際コース説明会☆

4月20日(土)、ミッドランドスクエアにて、中学生とその保護者の皆さんを対象に国際コースの説明会を行いました。

多くの中学生・保護者の皆さんに参加していただき、国際コースのカリキュラム説明、AETの先生によるレッスン、在校生の留学体験発表やスピーチ、卒業生や保護者の方のお話を聞いていただきました。また、質疑応答の場では参加者の皆さんから積極的に質問をいただき、国際コースについて理解を深めていただけたのではないかと思います。



AETの先生によるレッスン



在校生も参加



# SHS INTERNATIONAL LETTER MAY

## ☆留学体験記☆

津島市立神守中学校出身 C.K

私は4月から1年間カナダのビクトリアに留学していました。現地の学校では、日本語、社会、スペイン語、理科の授業を履修していました。日本語の授業では先生のアシスタントをしました。先生がお休みの日には私が先生の代わりに英語で日本語の文法を説明しました。その授業の中で私は生まれてから自然に話せるようになっていた母国語を海外の人に教える難しさを学びました。また日本の文化を再び学ぶことができました。スペイン語や歴史の授業では、日本とは違う国の文化や言語、歴史を学び、私の価値観を広げてくれました。



ホストファミリーと撮影



クラスの様子

ホストマザーや、ルームメイト、友達、そして日本の家族や学校などたくさんの人に支えられて私は留学できました。日本で当たり前のようにできたことは、カナダでは当たり前ではないと分かりました。これからも留学で得た経験を糧にし、感謝を忘れず一生懸命生活していきたいです。

留学に行って大変なこともありました。始めは積極的になれず、分からないことがあってもそのままにしてしまいました。しかしこのままではだめだと思い、周りにいる人や先生に声をかけ、分からないことは素直に聞いて確認するようにしました。そうすることでだんだんと友達も増えていき、留学生活が楽しくなりました。



プリティッシュコロンビア州議事堂